

番号	主な意見	当日の回答要旨
1	5ページのQRコードから結果を見ることのできる、子どものアンケートについては、どのように周知をされていたのでしょうか。また、回答者数を教えてください。	市立の小学校4年生から中学校3年生までにタブレット端末を活用して、学校で内容をご案内いただいたうえでアンケートをとるという形にしました。対象者の児童生徒数は4,928人、回答率76%、回答総数は3,743件です。
2	子どものアンケートに関連してですが、子どもの権利について、子どもたちが自分たちのこととして考えることが大切だと思いました。	
3	13ページ「子どもを支える人びとへの支援」の2つ目の○です。「おとなは、『子ども支援者』として、子どもが自己の意思で自己成長していくために欠かせない自発的な活動、とくにその能動的な活動意欲の源としての『自己肯定感』の獲得を支援していくことを目指すことが望ましいと言えます」。これはまさにそのとおりだと思っています。武蔵野市でも自己肯定感を高めるということは教育目標にうたっていますが、子どもたちの様子、姿というのは、大人たちを映している鏡のようなものだと思います。大人たちが自己肯定感が高いか、前向きに夢を大人同士や子どもに対して語っているかという、そこは日本は弱いと思います。行政、学校、地域社会や家庭が、皆それぞれの役割を果たしていくことにより、少しずつ自己肯定感が高まっていくと思います。1つの例として、小学生の子どもとすれ違ったときに、大人は子どもたちに挨拶をしていないことが多いです。子どもは、大人に自分が認めてもらえた、話ができたとすることで、自分の存在、自分の自己肯定感が少し高まるのです。そういう大人としてのかわりを具体的に盛り込んでいくことも必要なのではないかと思います。	
4	16ページの「保障すべき子どもの権利」の○の4つ目で「子どもには、意見表明し、参加する権利があること。」とあります。意見表明権が入るのは、いいことだと思います。子どもたちがいろいろなものに参加したり、決定にかかわったり、あるいは、そのことで変わることに、変えていくことができた、という経験を持つというのは大事だと思っています。学校の中で参加すること、決めることにかかわること、変えてきたという経験を持つというのが、主権者というか、公民の育成という面でも大事だと思います。	意見表明については、意見表明できる立場の子どもの意見だけでなく、発言できないような子どもからの意見も支援者が汲み取ることが大事だという意見もあり、そういった視点も入れていきたいと思っています。
5	「F－1 子ども居場所」は非常に重要なことだと思います。22ページに、子どもの特別休暇の制度を検討する余地があるとありますが、実際に実現できる可能性があるのでしょうか。子どもにとってはいいことかもしれませんが、学校に来るのがバラバラになって、補助していくのが大変なのではないかなと感じます。こういうところまで踏み込んだ条例になってしまうのか、気になるところです。	23ページの「補足意見」にある通り、学校教育法施行令の中で、校長は出席状況を明らかにしないといけないうえ、理由も明らかにしないで休んだ子を出席扱いにするのは、今の制度上困難です。また、子どもたちが休んだときの学力的なフォローが心配されるということも、記載されています。教育委員会としては、実際の制度として条例に記載するというのは難しいと考えています。ただし、休む権利はありますので、必要な場合に学校を休むことについて、地域や学校や社会の理解が得られるようにするために、どうすれば良いかを考えるべきと認識しています。
6	子どもの権利について、21ページにある「子どもの居場所」がとても大切だと思っています。小学生ですが、特に中学生くらいになると、いろいろな切り口から考えられる、ありとあらゆる居場所をつくってほしいと思います。応援する意味で発言させていただきました。	
7	教員をやっていた立場から、22ページの3つ目の○を読んだときに、少し違和感を覚えました。子どもにとって学校に通うのは義務ではないという部分と、権利として学校で学んでおり、自らの意思で学校を休む権利がありますという部分です。子どもが安心して休むことができるような工夫も、わからないではないのですが、子どもたちは、学校でいろいろな経験をして、その学校で少ししんどい体験などを乗り越えて成長します。少し友達関係がしんどいときに、休む権利があるから休むということが、下手をすると不登校の引き金になるということを感じました。必要に応じて修正を加えていただけるとありがたいと思います。	委員会の中では、教育委員会の考えとして先ほどの懸念点等については申し上げていますが、全体的ではこういう休暇制度についてはあったほうが良いのではないかという意見が多数でした。理念として、休む権利があることについては、条例に記載すべきことと思いますが、方法については十分検討する必要があると考えます。
8	休暇制度が権利としてありますとなると、今では考えられないようなことが学校現場で起きてくるのではという懸念があります。権利として認めるのは良いとしても、その意味が子どもたちに伝わっていくような内容になるように、もう一度お話をいただければと思います。	今後、十分議論していきたいと思っています。

番号	主な意見	当日の回答要旨
9	「休暇制度」の「休暇」という言葉について、夏期休暇や届け出をして学校を休む場合も休暇にあたるのかといった点を整理していただきたいです。また、教育機会確保法との関係もあるかと思いますが、働く人たちの有給休暇制度の関連で言うと、学校で学ぶことは労働とはまた違うので、そのあたりをもう少し整理をしていただけますでしょうか。また、そのあたりの認識が異なると議論がずれてくると思いますが、言葉の定義や整理は、検討委員会の中ではされましたか。	今回の骨子の主旨は、休む権利を保障するために地域の理解を得るとか、さまざまな居場所を保障するとかいった部分かと思います。必ずこれが休暇制度につながるというものではないと認識しています。学校としては、出席か欠席かということですので、休暇という考え方はありません。夏休みや冬休みは、学校が休業中であるので、子どもたちは出席をしなくても良いということになります。委員会では教育委員会としての考え方はお伝えしています。
10	休暇というのではなく、出席か欠席かであるということは、今の学習指導要領で定められているものですか。	学習指導要領は学習指導に関する内容ですので、出席、欠席については、学校教育法や施行令、施行規則等に基づいているものです。
11	コロナがまん延しているときに出席停止の扱いがありましたが、出席停止という言葉について、免停のようにとらえてしまった方もいらっしゃいました。言葉をしっかり整理して周知しないと、どんどん話が違うほうに行ってしまうので、この機会にもう一度言葉の定義を広めていただきたいと思います。	
12	条例や制度の前に、子どもたちが今、忙し過ぎると思います。学校の後に毎日塾が入っていたり、習い事が入っていたりという子がたくさんいます。本来あるべき子どもたちの姿、たくさん遊んで、たくさん学んで、そしてたくさん休むということをもっと根本的なところとして捉えた上で、そのためにこういう条例がありますということが必要ではないかと思います。まずは子どもたちの多忙感や、身体的な疲れといった部分を見てあげる必要があるのではないのでしょうか。	委員会にご意見をお伝えします。
13	36ページで、いじめの重大事態が生じた場合に市長が第三者的な立場の調査委員会を設置するとありますが、これを設けるのはいいことであると思います。また、「教育委員会は、学校でのいじめの防止に関する基本方針を定め、学校でのいじめ問題について協議するため、関係者による協議会を設置すること」という部分ですが、これは、いじめ防止対策推進法で条例に基づいて設置することとされている協議会を想定しているのでしょうか。	いじめ問題に関しては、法に基づいたいじめ問題の関係者連絡会議はこれまで設けていましたが、条例に基づいた協議会の設置については、今回の条例で位置づけたいと考えています。
14	目次の項目でA-1からH-3まで見てみると、全部で30項目以上あります。もしこれが1個ずつの条文になると31条とか32条。附則がつくと、40ぐらいになってしまうかもしれません。できるだけ集約して、子どもたちがわかるやさしい言葉で書いてあげることが大切だと思います。最後にまとめるときに、そのあたりを意識した文章にし直すとか、簡略化して、全体の考え方がわかるような内容にしていだけるといいと思います。休暇の話といった細かい部分は、別のところで決めていけばいい話なので、俯瞰的に見た条文をつくっていくことが大切だと思います。この内容がそのまま条文になるということについては、少し心配です。	現在のスケジュールでは、9月に委員会の最終報告が出た後に、12月に市で条例素案をつくる予定です。最終報告がそのまま条例になるわけではなく、市で条例素案をつくりましますので、今後精査をしていきます。
15	委員会からの最終報告は、この報告書のような条例の骨子、骨子の基となる考え、補足意見という形で出てくるのでしょうか。それとも、次の段階のものが出てくるというイメージでしょうか。	これからパブリックコメントをしますので、どこまでこれを取り入れていくかは委員会次第ではありますが、2ページの(3)「パブリックコメントによる市民参加と条例骨子案との関係」のところでも、各分野のマイノリティ層の意見も尊重すべきとあるように、完成形でも補足意見等が入ってくるのだと思います。ただし、具体的には今後、委員会で精査していただきます。